

科目	単位	時間	履修学年	講師名
実習前研修 (基礎看護学実習Ⅰ)	教科外	30時間	1	長田 祥子
ねらい	看護実践能力向上を目的に、実習がより効果的な学びの機会となるように、実習前に必要な知識・技術の復習を行う。グループダイナミクスを活用したワークを取り入れ、実習グループやクラス単位でのリーダーシップ・メンバーシップの向上を図る。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	【基礎看護学実習Ⅰ-①】 実習オリエンテーション① <実習調整者> 1. 教育理念・教育目的・教育目標 2. 教育課程 3. 実習とは(実習概要) 4. 実習における心得 5. 実習評価(共通要項) 6. 病院実習前の確認事項(感染管理・健康管理) 7. 誓約書記入(※ ポールペン、印鑑持参) 8. 実習要項説明 (評価の視点) 9. 看護技術到達度表についての説明 10. これからの実習前研修について			副校長挨拶 実習調整者
2回目	実習オリエンテーション② 1. 必要物品の説明 2. 身だしなみの具体例			
3回目	実習オリエンテーション③ 1. 基礎看護学実習Ⅰ-①の確認 2. グループメンバーについて 3. 担当教員への挨拶の仕方 4. (個人・グループ)実習目標シート配布し立案 5. カンファレンスについて 6. 事前学習の内容・説明 7. 必要物品の確認し名前記入(マジック持参)8. 実習まとめの会について			
4・5回目	実習オリエンテーション④⑤ 技術評価(スタンダードプリコーション、ベッドメイキング、環境整備) ベッドメイキングで教員から評価を受け、クリアできない場合は長田に申し出ること 最終6月7日(金)までにクリアできるように取り組む。身だしなみ確認(実習に準じた)			個人・グループワーク 演習
6回目	実習オリエンテーション⑥ 1. 病院控室ロッカー使用方法、ロッカーの割り振り 2. 病院見学(黒スーツ)			
7回目	1. 初日の行動計画、目標の記入 2. 実習当日のスケジュール確認(朝の検温、体調報告) 3. 持参物品や身だしなみの最終確認 4. 接遇マナー(病室の訪ね方、挨拶など) 5. 記録用紙、カンファレンスファイル、評価表の配布			個人・グループワーク
1回目	【基礎看護学実習Ⅰ-②】 1. 基礎看護学実習Ⅰ-②に向けて(副校長) 2. 実習要項・評価の視点説明 3. 実習記録とは			個人・グループワーク 演習
2回目	4. カンファレンスとは 5. オリエンテーションの進め方(内容、事例患者の提示) 6. 実習の学びのまとめ発表会について 7. 実習目標立案(個人・グループ)			
3~7回目	事例患者のニード充足状況からみた対象理解 事例患者における技術練習(看護実践評価用紙の作成、実践、計画追加修正) (環境整備・コミュニケーション・バイタルサイン測定・日常生活援助 技術練習3回) 模擬カンファレンスを通して看護実践の振り返り 看護学生として初めて患者を担当するにあたり注意する点(ヒヤリハット例の紹介)			
8回目	1. 実習目標の再確認 2. 初日の行動計画、目標の記入 3. 実習初日のスケジュール確認 4. 持参物品や身だしなみ、ロッカー使用の確認			
	☆11月と12月にかけて、バイタルサイン測定の技術試験を実施し、全員合格している			
教科書	看護学概論、基礎看護学技術Ⅰ～Ⅵ、看護過程展開技術で使用した教科書、および講義資料、 毎回実習要項、関連配布資料を持参のこと。			
評価方法	※研修(まとめ会)での出席状況、取り組み姿勢は実習評価に関連する。。			